

お手伝いがしたくなっちゃう本

掃除に洗濯，お料理と子育てに追われながらの家事は大変ですが，家族にちょっとお手伝いを頼むことができれば，少し状況が変わるかもしれません。今日は子育て中のみなさんにおすすめの，読めばお手伝いをしたくなってしまう本をご紹介します。

1冊目は，石井由紀子/著『こどもキッチン，はじまります。』です。

この本は2歳からできる台所しごとが紹介されています。「たたく・つぶす」や「まぜる」など，小さな子どもたちがわくわくするような動作でお手伝いができるのです。例えば，パンを作る時は，マッシャーでじゃがいもをつぶす作業や，袋にいれてもむ作業を手伝ってもらいます。他にもきゅうりの海苔和えを作る際にきゅうりをすりこぎで叩く，海苔をびりびりちぎるなど，楽しくてお手伝いがしたくなっちゃうかも。

しかし，子どもがやる気になっても，親はつい手や口が出てしまいがちです。その気持ちをグッと抑えて，上手に見守る方法もイラストで分かりやすく紹介されています。

イヤイヤ期のお子さんに手を焼いている子育て中の皆さんや，台所でお料理をしていますが，子どもがついてきて料理が進まないと悩んでいるお母さんにもおすすめの1冊です。

2冊目は，ながかわりえこ/文・やまわきゆりこ/絵『くまさん くまさん』です。

「ぐりとぐら」シリーズで知られるながかわ氏とやまわき氏が，くまさんの一日を描いた絵本です。赤ちゃんのお世話をしたり，お勉強やお洗濯をしたりと，くまさんの一日は多忙です。ですが，くまさんのお手伝いはとっても楽しそう。「くまさん くまさん エプロンかけて くまさん くまさん おてつだい」と，心地いいリズムにのせて，つい歌いたくなってしまう。読めば子どもたちも「くまさん くまさん」と歌いながらお皿ふきをしてくれるかもしれません。

3冊目は，ジャン・オームロッド/作『ちらかしぼうや』です。

ぼうやがちらかしたおもちゃや絵本を「おもちゃはおもちゃばこにいれようね」などと優しく声をかけながら片付けていくお父さん。ところが，ぼうやは片付けをするお父さんの後ろで楽しそうにまたちらかしていきます。最初は自分の後ろで繰り返し広げられる散らかしっぷりに気付いていないお父さんですが…。

小さな子どもは散らかすもの。そう分かっているけど腹が立つこともあります。そんな時はこのお父さんのように「ちらかしぼうや」もしくは「ちらかし嬢ちゃん」だなあとお子さんを抱きしめてみてはどうでしょうか。このお父さんのように，もう一度はじめてから片付けるさ，という気持ちになれるかもしれません。

お父さんにもお片付けを手伝ってもらいたい！と思っているお母さんにもおすすめ

の一冊です。

図書館にはこの他にも子育ての本や絵本がたくさんあります。ぜひご家族でご来館ください。